

立教大学国際学術研究交流制度
在外研究
2022年度研究成果報告書

研究代表者	所属部局・職		氏名	
	経営学部・教授		辻 洋右	
研究課題	米国大学における体育会所属学生のその他学生や大学全体への影響に関する研究			
全研修期間	2021年8月11日 ～ 2022年8月12日 (367日間)			
経費	年度	申請額	所属学部からの補助額	助成額
	2021年度	2,168,955円	750,000円	1,418,955円
	2022年度	1,124,955円	0円	1,124,955円
主な滞在国及び研究機関名	国名	研究機関名		
	米国	フロリダ大学		

研究成果の概要 (図・グラフは使用しないこと)

本研究の目的は、米国大学における体育会所属学生の活躍や存在が、その他学生と大学全体にどのような影響を与えるかを明らかにすることにある。米国大学の体育会所属学生のスポーツでの活躍はテレビ・新聞紙・雑誌などのメディアに頻繁に登場し「スター選手」として扱われる事があり、その効果としては受験者数の増加などで報告されている (Castle & Kostelnik, 2011; Caudill et al., 2018; Pope & Pope, 2009, 2014)。我が国でも箱根駅伝などのイベントと受験者数を研究した論文もみられる (e.g., 恩田ほか, 2021; 榊原, 2017)。しかし、スター選手のその他ステークホルダーへの効果に関する実証研究は少なく、本研究はその点にフォーカスをしている。

本研究では研究期間内に、次の目標達成を目指した。

- (1) NCAA の体制が確立されている米国大学という 今までの研究とは違うコンテキスト下で顕出される要因を明らかにする。
- (2) 大学体育会所属選手と一緒に勉学に励む その他大学生への効果や大学全体への効果を洗い出す。
- (3) 汎用性の高い尺度を開発し、その精度を上げる。

本研究の特徴は、スター従業員研究 (e.g., Asgari et al., 2021; Call et al., 2015) の視座を用いているところにある。Asgari et al. (2021)によると、スター従業員とは「卓越した成果を生み出すことができる希少で望ましい資質を有していると広く永続的に認識されている人物」のことを指し、体育会所属学生にこの定義を援用すると、「卓越した成果を生み出すことができる希少で望ましい資質を有していると広く永続的に認識されている学生」とすることができる。

研究成果の概要 (つづき)

2022年度は2021年度からの研究を継続し、まず、上記目標(1)と(2)を達成すべく、引き続き先行研究のレビューや聞き込み意見交換などを中心に行った。先行研究の対象は企業という限られた領域内・企業内におけるスター従業員であったが、スポーツは他より公益性が高く、また大学スポーツが米国内で大きな注目を集めている観点から、様々なステークホルダー(チームメイト・コーチ・教員・学生・地域住民)に様々な影響を与えていることがわかった。しかしながら、そのステークホルダーの多さによりスターの資質の認識が異なることも分かった。具体的には、限られた範囲内(例えばチーム内)で注目を集め活躍する、いわゆる「アンサンブル・ヒーロー」も注目すべき点であることがわかった。このような点から、測定時には慎重な判断が求められる。また、Celebrity studiesの観点から長期的な視点で様々な課題点(e.g., Goodman & Barnes, 2011; Lines, 2001)も見つかったのも研究の成果であり、今後の研究につなげていきたいと考えている。

これらの点から、上記にある目標(1)と(2)に関しては、総じて達成できていると考える。しかし、(3)に関しては、夏学期にさしかかると学生数がキャンパスから激減し、サンプルの確保が難しい状況に陥ってしまった。そのような事情から今回の研究期間内で(3)の目標達成は困難であった。引き続き共同研究者と継続して汎用性の高い尺度開発に邁進したい。

このような事情から新たに、今回の研究テーマに適した研究手法・分析方法を取り組むこととした。具体的には、PLS-SEM(偏最小二乗構造方程式モデリング)について、より詳しく研究を始め理解を深めた。

キーワード (研究内容をよく表しているものを5項目で記入)

[スポーツ] [マーケティング] [マネジメント] [大学経営] [(日本版) NCAA]

研究発表 (研究によって得られた研究経過・成果を発表した①~④について、該当するものを記入してください。該当するものが多い場合は主要なものを抜粋してください。)

- ①雑誌論文(著者名、論文タイトル、雑誌名、巻号、発行年、ページ)
- ②図書(著者名、出版社、書名、発行年、総ページ数)
- ③シンポジウム・公開講演会等の開催(会名、開催日、開催場所)
- ④その他(学会発表、研究報告書の印刷等)

④ その他(2022年7月26日 特別講義) テキサス A&M 大学 教育・人間開発学部 運動・スポーツマネジメント学科の学部科目名: SPMT 370 Fan Behavior in Sport (2講義) に特別ゲスト講師として招聘され、テキサス州カレッジステーション市に赴き、今回の研究途中の成果を発表している。